

## 「羅生門」の構造

目的  
目標

「文字として書かれていないこと」を読み取れるようになる。  
 「羅生門」の主人公「下人」がどのように変化したが、次の表現をもとにしてみんなが自分の言葉で説明できるようにする。

「羅生門」の主人公「下人」は物語の中で（A《どのような？》）子供から、（B《どのような？》）大人に（C《いつ？》）の時点で成長した。

## 羅生門

